

## 児童が田植えをしたお米（資源米）が指定ごみ袋に！

### 潟東小学校で出前授業を実施します！



田植えの様子



令和6年度の出前授業の様子

本市は、2050年までに二酸化炭素の排出を実質ゼロとする「ゼロカーボンシティ」を目指し、カーボンニュートラルであるバイオマスプラスチックの利用を推進しています。

この一つとして、「市町村内で栽培したお米を原料にしたバイオマスプラスチック製の指定ごみ袋」を製造しています。

令和7年度製造分のごみ袋の販売開始の周知を兼ねて、田植えを行った潟東小学校の児童に向けて出前授業を実施しますので、広報にご協力頂きたく、よろしくお願い申し上げます。

#### 記

- 日時 令和8年3月6日（金）午後1時35分から午後2時20分
- 場所 新潟市立潟東小学校（西蒲区三方）
- 出席者 潟東小学校（5年生）40名  
(株)バイオマスレジマーケティング 執行役員 杉原 孝行  
新潟市環境部循環社会推進課 課長 堀内 正徳
- 次第
  - (1) 開会・挨拶（13:35）
  - (2) 出前授業  
・ごみ袋の製造方法やメリットについて説明（バイオマスレジマーケティング）
  - (3) 児童からの質疑・応答
  - (4) 記念撮影
  - (5) 閉会（14:20）
- 備考 バイオマスごみ袋の詳細等については、別紙「事業概要」参照  
取材希望の場合は、別紙「取材申込書」にて申し込みください。

～お米づくりから派生するゼロカーボンへの挑戦～



取組内容

- お米（資源米※）の生産 ※非主食用米  
新潟市内でお米のバイオプラスチック用の資源米を生産
  - ・農地所有適格法人 株式会社やまがら（西蒲区）
  - ・農事組合法人 あげぼのクラブ（江南区）
- 資源米を使った「指定ごみ袋」製造  
新潟市内で生産した資源米を使った「指定ごみ袋」製造
  - ・「指定ごみ袋（20ℓ・小）」を令和7年度内に500万枚  
（低密度バイオポリエチレン、新潟市産の米10%配合）

ポイント

- 令和6年度全国で初めて市内で生産されたお米を原料とした指定ごみ袋を導入＝「田園型環境都市にいがた」のPR
- ごみ袋を通じて、環境問題やプラスチック削減などを意識するきっかけに＝「ゼロカーボンシティ」の取組みPR

ごみ袋ができるまで

西蒲区と江南区で育てた「お米（資源米）」が、工場でお米のプラスチック「ライスレジン®」になり、それを原料とした「新潟市の家庭用ごみ袋」に生まれ変わります。



市民のみなさんがこのライスレジン製ごみ袋を使う事によって、これまでより「二酸化炭素の排出を10%抑制」することができます。

ごみ袋のデザイン（令和7年度製造分）



- ← 持ち手部分に稲穂をデザイン
- ← お米のごみ袋に変わる理由や効果など
- ← 取組みに賛同する企業名（ロゴ）
- ← 「バイオマスマーク」「ライスレジンマーク」

※令和7年度製造分の袋の流通は、令和8年4月中を予定

3月5日（木）正午までにメールまたはFAXにてお申し込みください。

E-mail [junsui@city.niigata.lg.jp](mailto:junsui@city.niigata.lg.jp)

FAX 025-222-7032

新潟市環境部循環社会推進課 行

3月6日（金）13:35～ 潟東小学校 出前授業

取材申込書

社名		
連絡先	氏名	
	電話番号	
	FAX 番号	

【注意事項】

児童撮影に際して、留意事項があります。（当日、市職員に確認の上、撮影願います。）